

科目名 (英)	4校合同コンテスト	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井 及川 吉田
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ベルエポックグループ4校での学校間をまたぐフォトコンテストを開催し、技術・知識・感性の強化を目指す							
【授業を通じての到達目標】							
ベルエポックコンテストに向けて作品のクオリティを強化する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	<p style="text-align: center;">【授業単元】 コンセプト作成及び仕込み</p>						
2							
3							
4							
5							
6							
7	<p style="text-align: center;">【到達目標】 テーマを基に、イメージを膨らませコンセプトシートに落とし込む コンセプトをもとに、必要な材料をそろえる</p>						
8							
9							
10	<p style="text-align: center;">【授業単元】 コンセプト発表</p>						
11							
12							
13	<p style="text-align: center;">【到達目標】 コンセプトシートを基に、モデルにヘアメイクを施す</p>						
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<p>●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施</p> <p>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			

科目名 (英)	Basic Hairmake Design I (Basic Hairmake Design I)	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	大瀬/永井
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
				曜日・時間		水曜1, 2 水曜3, 4 金曜1, 2 金曜3, 4	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
外資系化粧品ブランドのメイクアップアーティストを経て、バックステージやMV、CM等のヘアメイクに携わる。メイクの基本的な理論を理解し、フルメイクを行うための基本的な基礎技術を学ぶ。							
【授業を通じての到達目標】							
メイクアップ基本技術を経て、理論や応用技術を習得し更なる技術向上を目指す。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
Basic Make Up、メイク道具一式							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	肌作り①ツヤ アイブロウとコンシーラー使いの応用技術を習得する						
2	肌作り②マット アイブロウとコンシーラー使いの応用技術を習得する						
3	アイメイクの知識・理論・技術をより理解し技術の向上を目指す つけまつ毛取り付け実習						
4	顔の骨格、パーツごとの形の分析をしフルメイクをプレゼンテーション出来るようになる					小テスト 10点	
5	似合わせ① 課題に沿ったメイクを相モデルで実習しプレゼンテーションする						
6	似合わせ② 課題に沿ったメイクを相モデルで実習しプレゼンテーションする						
7	中間テスト課題を時間内に完成させる					中間テスト 20点	
8	地域ごとのメイクアップ① 欧米編 トレンドや手法を知り実習する						
9	地域ごとのメイクアップ② アジア編 トレンドや手法を知り実習する						
10	成人式などの和装に合うメイクのポイントを理解し習得する					小テスト 10点	
11	ラメやグリッターなどのアイテムの使い方の知識を深め習得する						
12	世代ごとの似合わせ① アラサー世代に合ったニーズや技術を学び習得する						
13	世代ごとの似合わせ② アラフォー世代に合ったニーズや技術を学び習得する						
14	定期テスト課題の練習をし、技術の向上と習得する						
15	定期テスト課題を時間内に完成させる					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	Basic Hairmake Design II (Basic Hairmake Design II)	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	中村/木本/大井
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
				曜日・時間	水曜1, 2 水曜3, 4 金曜1, 2 金曜3, 4		
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師を経て、TV、舞台、サロン、ブライダルなどのヘアメイクに携わり、実際に現場で働く講師よりトレンドを学びながら基礎の土台を固める。ウィッグを用いてはじめての技術を練習した後、相モデルにてその技術を披露し似合わせの能力を養い、プロフェッショナルの技術を身に付ける為の基礎技術と理論を修得する。							
【授業を通じての到達目標】							
ベーシックなスタイルからトレンドのスタイルまで幅広く基礎技術を身に付け、サロンスタイルや現場実習に対応出来る似合わせの力を修得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘア教材一式							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	【すき毛・合わせスタイル①】すき毛の特性を学び、すき毛を入れた合わせスタイルを修得する						
2	【①復習・合わせスタイル②】すき毛を入れた合わせスタイルを完成させる						
3	【②復習・合わせスタイル②】すき毛を入れた合わせスタイルを完成させる						
4	【合わせ② + カールアップ①】カールアップスタイルを修得する					小テスト10点	
5	【合わせ選択 + カールアップ②】カールアップスタイルを修得する						
6	【合わせ選択 + カールアップ③】カールアップスタイルを修得する						
7	【合わせ選択 + カールアップ選択】オリジナルの組み合わせでカールアップスタイルを完成させる					中間テスト20点	
8	【面スタイル】すき毛を入れた面スタイルを修得する。ヘッドピースやお飾りの付け方を学ぶ						
9	【模写①】構成を理解し、スタイルの模写をする						
10	【模写②】構成を理解し、スタイルの模写をする						
11	【オリジナルスタイル作り】展開図を作成し、オリジナルのヘアスタイルを完成させる					小テスト10点	
12	【セットサロン実演】相モデルで、お客様とスタイリストになり、似合わせヘアスタイルを提供し合う						
13	【成人式スタイル】テーマに沿ったヘアスタイルを完成させる						
14	【似合わせアップスタイル(相モデル)】モデルに似合うオリジナルプリンセスをプロデュースし、アップスタイルを完成させる						
15	【似合わせアップスタイル(相モデル)】モデルに似合うオリジナルプリンセスをプロデュースし、アップスタイルを完成させる					定期テスト60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅱ (professional seminar I)	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	及川・今井・吉田
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	金曜2、金曜3
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイク業界の理解を深め、社会人として必要な教養・マナーを学び、現場実習に活かすことができる ヘアメイクの業種・分野を理解し、自身の将来像を明確にすることができる 就職活動における基盤を作り、スムーズに実践できるようになる 主たる講師:美容院に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している(及川)							
【授業を通じての到達目標】							
美容のプロになるために必要な業界知識や流れを理解し、ヘアメイクの分野に合わせたビジョンを組み立てることができる 目指すヘアメイク分野の業界を知り、方向性を見出し、自主的に行動できるようになる 自己分析ができ、就職活動における基本的な履歴書作成ができるようになる 志望する業種・分野をしぼることができ、インターンや現場実習に積極的に参加することができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【持ち物】			
毎授業時にteams共有				就職活動ノート・筆記用具			
回	授業概要						テスト配点
1	前期を振り返り、後期目標を設定し、自己変革期に向けスタートを切る 後期授業・スケジュール・理解し、自分自身で今後のスケジュールリングが出来る 就職活動の流れを理解することができる【就職活動ノート①】						
2	在校生(2年生)の話を聞き、進路・就職活動について考える 就職活動ルールを理解することができる【就職活動ノート②】						5点
3	履歴書のルール・マナーを理解し、左半分を完成させることができる【就職活動ノート③】						
4	卒業生(HM・BR)の話を聞き、進路・就職活動について考える 自己分析を行い、自分自身について専門的に知り、内容をまとめることができる【就職活動ノート④】						
5	他己分析を行い、他人の長所発見とシェアが出来る より客観的に自分の長所について理解し、まとめることができる【就職活動ノート⑤】						5点
6	卒業生or業界(セットサロン・美容師・アイリスト)の話を聞き、進路・就職活動について考える プレ職種決定アンケート①にて自分の進路について真剣に考える						
7	【中間テスト】6週目までの内容を理解し、アウトプットすることができる 自己PRの書き方のポイントを知り、2つの文章を完成することができる【就職活動ノート⑥】						20点
8	卒業生(HM)の話を聞き、進路・就職活動について考える 志望動機の書き方のポイントを知り、文章を完成することができる【就職活動ノート⑦】						
9	履歴書完成させ、学校提出を完了できる						
10	プレ職種決定アンケート②にて自分の進路について真剣に考えることができる 選択職種の業界研究・業界研究シート作成						
11	選択職種の業界研究・業界研究シート作成 作った業界研究に沿って効果的なプレゼンテーションの練習をすることができる						
12	業界研究シート作成発表 相手に見やすく・分かりやすくシートをまとめることができる 自分の思いをのせて、堂々とプレゼンテーションが出来る						10点 (期限内提出点 5点 発表点 5点)
13	(確定版)職種決定アンケートにて今後自分が進む進路に向けて決意を新たにする 集団模擬面接のマナー・礼儀・ポイントを理解する						
14	集団模擬面接練習 受験生側と面接官側の両方を体感し、気づきを得ることが出来る						
15	【定期テスト】集団模擬面接試験 面接試験を行い、入退室マナー・自己PR・長所短所などについて面接官からフィードバックを受け 出来ているところ・努力すべきところを把握できる						60点
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術 I (Total Hairmake I)	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	秋本/鈴木 堤/久保
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時間	木曜1, 2 木曜3, 4
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
メイクやスキンケアなどの応用を理解し、メイクの色や形など応用技術を学ぶ。 ヘアと同時進行で授業を進め、ヘアメイクの総合技術またトレンドを身につけ 現場などで活かせる技術を習得する。							
【授業を通じての到達目標】							
スチール撮影やウィッグコンテストへ向けて、ヘアメイクの知識やライティング、トレンドなどを学ぶ。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	スチール撮影に向けての技術を習得する						
2	スチール撮影に向けての技術を習得する						
3	スチール撮影に向けての技術を習得する					10	
4	スチール撮影に向けての技術を習得する						
5	スチール撮影に向けての技術を習得する						
6	ヘアメイク総合技術を習得する						
7	ヘアメイク総合技術を習得する					20	
8	トレンドメイクを習得する						
9	トレンドメイクを習得する						
10	模写メイクを習得する						
11	ウィッグへのメイク方法を習得する						
12	模写メイクを習得する					10	
13	ウィッグへのメイク方法を習得する						
14	相手の顔に合わせたメイク方法を習得する						
15	相手の顔に合わせたメイク方法を習得する					60	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術Ⅱ (Total Hairmake Ⅱ)	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	永井/貞包 今井/木本
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時間	木曜1, 2 木曜3, 4
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>実務経験豊富なヘアメイクアーティストからヘアの応用技術を学ぶ。 学んできた基礎をもとに様々な技術を組み合わせたスタイルに挑戦し、人頭の施術を通して髪質、カットラインに合わせた技術選択や、 モデルやイメージに合わせた構成を学び、バリエーション豊かなデザインを表現することができるようになる。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>イメージ、世界観、モデル、背景、メイク、ライティング、画角全体を想定して施術するヘア(スチール撮影用) 独創性のある華やかで映えるヘアデザインの提案、考えたデザインを形にできる技術力(コンテスト用)</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
teamsコマシラバスに記載							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	スチールについての知識、ラフ画の描き方、円滑な試作方法の習得					10	
2	バリエーション技術の習得						
3	バリエーション技術の習得						
4	バリエーション技術の習得						
5	バリエーション技術の習得					10	
6	メイクとのバランス、調整技術						
7	中間テスト(スチールデザイン)最終スチールデザインを確認					20	
8	コンテストについての知識 舞台上で映える印象的なヘアデザインの考え方を習得、 コンセプトシートラフ画						
9	バリエーション技術の習得						
10	バリエーション技術の習得						
11	バリエーション技術の習得						
12	バリエーション技術の習得						
13	バリエーション技術の習得						
14	メイクとのバランス、調整技術						
15	定期テスト(コンテストデザイン)最終コンテストデザインを確認					60	
【特記事項】				【評価について】			
				<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			

科目名 (英)	現場トレーニングⅡ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	阿部
学科	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時間	月
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師および美容学校で長く実務経験のある教員が担当 自分たちの持つイメージを伝えられるようなスタイリング・表現で、イメージ写真を具現化していくことを体得していく 自分の技術をアピールする力を身につけることができる							
【授業を通じての到達目標】							
ヘアメイクアーティスト・ヘアメイクアシスタントに必要な知識・技術を習得する ヘアメイク現場の実践イメージを掴むことができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時にteams共有				毎授業時にteams共有			
回	科目	授 業 概 要				テ ス ト 配 点	
1	ブロー演習	ハンドドライ、カールアイロン技術の体得(平巻き・縦巻き・巻きつけの復讐)(スパイラル巻き・毛先逃がし巻き・ストレートアイロン) 基本的なアイロン技術を習得することができる					
2		デンマンブラシによるワンレングスのブローの体得、シルエットの理解 ブラシの使い方を理解することができる					
3		デンマン&ロールブラシによるワンレングスのブローの体得、ストレートアイロンによる波ウェーブ ワンレングスをブローし、ブラシの違いを理解することができる					
4		ロールブラシによるワンレングスのブロー、 カールアイロンによる波ウェーブ ロールブラシを使ってブローができる					
5		ブロー、アイロン技術を取り入れ、スタイルを完成することができる					
6	シャンプー演習	シャンプーの流れを理解する 相モデルでシャンプーの流れ、洗い方を学ぶ/シャンプーの手順を覚える					
7		中間テストトリートメントの仕方を理解する ウェット、シャンプー、トリートメントを通して出来るようになる					
8		マッサージの流れを理解する ヘッドマッサージの技術、手順を覚える					
9		ヘッドスパの流れを理解する ヘッドスパの手順を覚える/頭皮のツボを覚える					
10		時間を意識した施術をする 目標タイム20分で施術が出来るようになる					
11	メンズスタイリング 演習	メンズスタイリングとレディーススタイリングの違いを知る					
12		スタイル別ヘアセットの解説					
13		スタイリングベースづくり(ウィッグ使用)					
14		アイロンを使用したスタイリングづくり					
15		ヘアスタイリング剤を使用してスタイル別ヘアセット					
【評価について】							
●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施							
●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)							
●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。							

科目名 (英)	Photo Shooting I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井 木本 堤 久保 秋本 鈴木 永井 貞包
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>実務経験豊富なヘアメイクアーティストからヘアへの応用技術を学ぶ。 学んできた基礎をもとに様々な技術を組み合わせたスタイルに挑戦し、人頭の施術を通して髪質、カットラインに合わせた技術選択や、モデルやイメージに合わせた構成を学び、バリエーション豊かなデザインを表現することができるようになる。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
与えられたテーマを元に、スチール用にモデルをヘアメイクできるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘアメイク道具一式							
回	授業概要						テスト配点
1	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーションA 【到達目標】 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのケアの仕方や立ち振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに生かす。						
2							
3	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーションB 【到達目標】 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのケアの仕方や立ち振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに生かす。						
4							
5	【授業単元】 イメージヘアメイク①A 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。						
6							
7	【授業単元】 イメージヘアメイク①B 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。						
8							
9	【授業単元】 イメージヘアメイク②A 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。						
10							
11	【授業単元】 イメージヘアメイク②B 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。						
12							
13	【授業単元】 ビジュアルコピーヘアメイク AB合同 【到達目標】 コピー元ビジュアルを再現するにあたり、研究とリサーチが十分か。 モデルに似合ったビジュアルになっているかが基準。						
14							
15	【授業単元】 クリエイティブヘアメイク 【到達目標】 主にフォトコンで賞を取るような作品のディレクションやアイデアを研究する。						
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	オリエンテーション・導入教育Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井 及川 吉田
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
後期の学習のイメージをつけることができる							
【授業を通じての到達目標】							
年間のスケジュールが理解できる 授業概要が理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 スケジュール確認						
2							
3							
4							
5	【授業単元】 時間割・授業概要理解 就職課有働について・教材理解・教科書理解						
6							
7							
8							
9	【到達目標】 後期のスケジュールが理解できるようになる						
10	【到達目標】 後期の授業概要を理解し、これからの学びのイメージを持つ 自身が今後使用するヘアやメイクの教材について把握し、使用方法が理解できる						
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	きもの着付け演習(初傳)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	中澤・岡野
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
長きに渡り、着物着付け師・着物講師指導にあたり、自らも和装ブライダルの花婿・花嫁の着付けを手掛ける教員が冠婚葬祭の基礎知識をわかりやすく解説し、現代のニーズに応えられる上質の和装着付けを実施する。 基礎の浴衣から小紋の着付けまでを一人で着る自装を器具等を使用せず、どのような現場でも通用する技術を提供する。							
【授業を通じての到達目標】							
一人で着る着付けが出来る→小紋の着付けと名古屋帯の→重太鼓の帯結びができるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
一般財団法人国際美容協会のきもの着付け教本							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	着付け前の着物の準備の仕方を覚える(小紋の着付け)						
2							
3							
4	帯結び名古屋帯の準備の仕方から→重太鼓の結び方					中間テスト 20	
5							
6						小テスト 20	
7	帯あげ帯締めまで鏡を見ないでできるようになる						
8						定期テスト 60	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	コンテスト	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井 及川 吉田
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年次の学びを活かし、創造的な作品を発表する							
【授業を通じての到達目標】							
ウィッグを対象に、コンセプトどおりの作品を表現する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	<p style="text-align: center;">【授業単元】 コンセプト作成及び仕込み</p>						
2							
3							
4							
5							
6							
7	<p style="text-align: center;">【到達目標】 テーマを基に、イメージを膨らませコンセプトシートに落とし込む コンセプトをもとに、必要な材料をそろえる</p>						
8							
9							
10	<p style="text-align: center;">【授業単元】 コンセプト発表</p>						
11							
12							
13	<p style="text-align: center;">【到達目標】 コンセプトシートを基に、ウィッグにヘアメイクを施す 制限時間内で仕上げ、プレゼンテーションを行う</p>						
14							
15							
【特記事項】				<p>【評価について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	ファッション講座	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	前嶋
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイクに必要なファッションやトレンドを理解する。 ※美術学科卒業後、広告宣伝業務に携わる。その中でファッションコーディネートについての業務も実施。							
【授業を通じての到達目標】							
基本知識を活用し、トレンドを取り入れたコーディネートができるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授業概要						テスト配点
1	【授業単元】授業概要理解 【到達目標】ネクタイの結び方(2種)を体得する。授業概要を理解する。						
2	【授業単元】自分に似合う色と柄を知る①(テキスタイル表) 【到達目標】布見本を用いて、自分に合う物を考察する。						
3	【授業単元】自分に似合う色と柄を知る② 【到達目標】布見本を用いて、自分に合う物を考察する。						
4	【授業単元】中間テスト 帽子の正しいかぶり方 【到達目標】帽子の種類(由来やかぶり方)を理解する。						
5	【授業単元】クローゼットに眠っている物を活用する方法 【到達目標】シルエットを考察し、着方を発見する。						
6	【授業単元】小テスト 新しい考え方のポイントを知る 【到達目標】ストリートファッションとは。ユニバーサルデザインとは。新素材や形の扱い方を理解する。						
7	【授業単元】黒い服と白い服① 【到達目標】バランスをとる方法を理解する。						
8	【授業単元】定期テスト 【到達目標】4種のトレンドマップを提出する。						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	業界研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	必修 選択	必修	年次	1・2	担当教員	今井 及川 吉田
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	75 (5)	開講区分	通年
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現場のヘアメイクの方からやりがいやトレンド、仕事の内容を伺い、将来の仕事のイメージをつける							
【授業を通じての到達目標】							
自身が将来進みたい分野の仕事のイメージつけることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時に配布				授業によって自宅課題あり			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(事務所)						
2	【到達目標】 事務所で働くヘアメイクのイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、学んだことを言語化して振り返ることができる						
3	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(スチール・広告)						
4	【到達目標】 スチールや広告等静止画で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、言語化して振り返ることができる						
5	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(映像系)						
6	【到達目標】 映画・ドラマ・CMなどの映像系で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事内容などを言語化して振り返ることができる						
7	【授業単元】中間テスト ヘアメイク業種・仕事内容・分野・働き方の振り返り						
8	【到達目標】 今まで学んだ内容を振り返り、やりがいなどをプレゼンテーションすることができる						
9	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(ブライダル)						
10	【到達目標】 ブライダルヘアメイクで働くことのイメージをつけることができる 仕事の内容などを振り返り、言語化することができる						
11	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(フォースタジオ)						
12	【到達目標】 スチール現場実習時のカメラ前アシスタントの動きや流れを理解出来る フォースタジオで働くヘアメイクの仕事を理解する 仕事を振り返り、言語化することができる						
13	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(サロン)						
14	【到達目標】 美容サロンで働くヘアメイクの仕事イメージすることができる 仕事を振り返り、言語化することができる						
15	【授業単元】定期試験 振り返り						
	【到達目標】ヘアメイクの仕事をつとめる視点で判断し、自分にあった職種をイメージすることができる						
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	業界特別授業 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井 及川 吉田
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
各企業より人事担当者が来校し、業界周辺の状況と顧客ニーズ、トレンド分析を実施する							
【授業を通じての到達目標】							
将来の就職分野の状況を知る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師作成資料							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】オリエンテーション 【到達目標】就職活動について/企業紹介						
2	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
3	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
4	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報						
5	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
6	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
7	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
8	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報						
9	【授業単元】オリエンテーション 【到達目標】就職活動について/企業紹介						
10	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
11	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
12	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報						
13	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
14	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす						
15	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報						
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	特殊メイク演習 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高岸
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>普段、撮影や収録現場で制作会社や編集からのリクエストをもとに授業内容を構成し、それに沿ったヘアメイクの表現方法の幅を学ぶ。 その中でも、特殊メイクに特化した授業を行う。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>血のり等を利用し、特殊メイクを仕上げる</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【授業単元】特殊メイク基礎 I 【到達目標】キズ、アザの基本・色・位置等を学ぶ。古傷の作成。						
2	【授業単元】特殊メイク基礎 II 【到達目標】古傷の作成(完成まで)。火傷等の基本・色・位置等を学ぶ。						
3	【授業単元】特殊メイク基礎 III 【到達目標】パテ等を利用した立体的な傷を学ぶ。						
4	【授業単元】中間テスト ドラマ・映画ヘアメイク I 【到達目標】映画やドラマなど収録現場でのヘアメイク学習の基礎を学ぶ。						
5	【授業単元】ドラマ・映画ヘアメイク II 【到達目標】映画やドラマなど収録現場でのヘアメイク学習の応用を学ぶ。						
6	【授業単元】小テスト イベントヘアメイク I 【到達目標】イベントなど比較的大きなステージで行われるヘアメイクの基礎学習。						
7	【授業単元】イベントヘアメイク II 【到達目標】イベントなど比較的大きなステージで行われるヘアメイクの応用学習。						
8	【授業単元】定期テスト 【到達目標】血のり等を使用し、手早くリアルな傷を作る。						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			